

# マリアノ年々マチ

牧草 泉

ボンノウニサイナマレタトキガアッタ  
シヨウペンハウアーモツメタカッタ  
ヨルノマチニミヨユダネタ

ヤサシクツツンデクレタ  
アマイカオリガシタ  
ナキタイヨウナヤスラギガアッタ  
ヒダリノホオガカスカニユレタ  
「ウメノハナヲミニイカナイ？」

ケイダイヨアルイテイル  
ウレシカッタ  
ハレヤカダッタ

ホオガホテッタ  
デモ

アカルスギタ  
ハズカシカッタ  
シンゾウガドキドキシタ  
ヘンジヲシナカッタ  
ドコカデキテキガキコエタ

ヨルノマチヲタズネタ  
マチハキエテイタ

# ソウルの街へ

K T X が動き出す  
風景が Y || K X + C 上に躍る  
一次曲線に身を委ねた人間には  
表情がない  
泣かない顔 笑わない顔  
無機の空間に秒針が走る  
C O N C R E T E に吸い込まれて  
人間が消えていく  
ソウル駅は B L A C K H O L E だ  
ムゲンファ号が北上する  
窓に映える灯りが  
瞬き揺れて訴える  
生きる悲しみ喜びを  
人いきれの中に時針が動く

駅前広場に出た人々は振り返る  
そうして  
ソウルの街に入っていく  
清涼里駅の温もりを抱きしめて

# 村の女は眠れない

少し  
戸惑いながら  
ページを開いた  
そこには  
高度成長から取り残された  
女と男がひっそり生きていた  
アンチテーゼだった  
反作用だった  
怒りだった  
泣きながらそして堪えながら  
遅しく強かに  
生きて行く  
女の軌跡はいつも一次曲線だ  
女のしなやかな性の中に

男がいる  
笹舟のように翻弄され  
打ちのめされながら  
それでも生きていく  
女の肌の温もりに明日を夢見て